



神奈川県畜産情報

発行所
神奈川県畜産会
横浜市磯子区西町14-3
畜産センター内
電話 045(761)4191
FAX 045(759)1162
発行人
志村善一

神奈川県畜産会のホームページ
「かながわ畜産ひろば」
[http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm]

毎月1回(1日)発行
〔神奈川県畜産情報(平成18年1月号以降)はホームページでもご覧になれます〕

定価1部10円(1年100円)
会員の購読料は会費に含む

謹賀新年



(社)神奈川県畜産会
会長 志村善一

平成二十四年の新春を迎え
皆様のご健勝を心から
お慶び申し上げます。

先ずは昨年の畜産会に対する多くの皆様より寄せられましたご厚情に深く感謝申し上げます。本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りま

すようお願い申し上げます。昨年、三月に発生した東日本大震災で、多くの方が亡くなられた

また家など大事な財産を奪われるなど、被災地の皆様には大変なご苦勞がありました。心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願っております。

震災の津波で起きた東電福島第一原発事故では、放出されたセシウム等の放射性物質が畜産産業に大きな被害を与えました。本県では、お茶から基準値を上回るセシウムが検出され、出荷停止となりました。畜産では、本県では幸い

にも汚染からの流通や基準値を超える牛肉の生産はありませんでしたが、東京都から基準値超えの牛肉が流通したため、買い控え等による風評被害がありました。

環太平洋経済連携協定(TPP)については、野田首相が昨秋のAPEC会議で、「交渉参加に向けて、各国との協議に入る」ことを表明したことで、新たな段階に入りました。今後は、各国との具体的協議が開始されることとなります。

食料の安定確保も危ぶまれます。日本の畜産産業を守るため、断固反対していかねばなりません。このような中、畜産業界は今までに経験したことのない危機的な状況にあり、経営は非常に厳しく自助努力ではいかんともしがたい事態となっております。畜産物価格の低迷、消費の減退、畜産物の安全安心の確保等、課題が山積みしております。

乳牛につきましては、消費者の販売価格に対する反応が厳しい中で、更なる経営安定対策の実施を期待するとともに、乳牛の改良増進や自給飼料の新たな作付け・増産の検討、乳質改善により一層取り組む必要があります。

肉牛につきましては、長引く枝肉価格の低迷に加えて、原発事故の影響が重なり、一層厳しい経営状況となっております。昨年は神奈川県産牛肉地産地消事業による和牛半牛が初めて市場流通して

り、今後はブランド化など円滑な流通販売を視野に入れた戦略が必要と考えられます。

養豚につきましては、豚価の長期低迷が経営を圧迫しており、思い切った対策の実施が望まれます。また、最終段階にあるオーエスキューブの浄化、更にPRRS等の慢性疾病対策が今後の課題となっております。

養鶏では、高病原性鳥インフルエンザが昨年一月三月に宮崎県など九州で、また愛知、和歌山、三重など中部近畿の太平洋側でも発生しました。三月には近隣の千葉県でも発生しましたが、幸い、本県には及びませんでした。

口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなどの悪性伝染病は、中国や台湾等日本を取り巻く各国で依然として頻発しており、今後とも予断をゆるぎないところでありま

えられませんが、畜産会といたしましても、この厳しい難局に全力を上げて取り組んでまいりたい所存であります。皆様の変らぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十四年の年頭にあたり、皆様の一層のご活躍、ご発展並びにご健勝を祈念いたしました。新年のご挨拶とさせていただきます。



神奈川県環境農政局農政畜産課長
古性亮彦

新年のご挨拶

明けましておめでとうございませ

皆様におかれましては、新たな抱負や願いを胸に新春を迎えられたことと存じます。

まずは、昨年三月十一日に発生した東日本大震災により被災された皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。

また、会員の皆様におかれましても、計画停電が実施されたことや、原発事故に伴い県外の稲わら

から放射性セシウムが検出され牛肉相場価格が下落するなど、大変厳しい一年であったと思えます。

県では、県内肉用牛飼養農家を対象とした全戸検査や牧草等の放射能濃度検査により、畜産物の安全性を広くアピールするとともに、原発事故に伴う損害賠償請求

への支援など様々な取組を行っているところと

このような状況の中、昨年十月に国の「食と農林漁業の再生推進本部」が決定した基本方針では、農林漁業再生のための七つの戦略が示されています。農業関係の主な戦略は、「競争力の強化・体質強化」として、「新規就農の増大」、「農地集積の促進」、「高付加価値化」及び「消費者との絆の強化」が掲げられています。

県においては、新たな「総合計画」の策定を進め、「いのち輝くマグネット神奈川」を県民と一体となつてつくりあげることが基本目標とされています。

また、都市農業の持続的な発展に関する指針として策定した「かながわ農業活性化指針」の改定も進めているところで

新たな指針では、県民と一体となった都市農業の振興と地域活性化を図り、農業の多面的機能

が享受し、誰もが生き生きと自分らしく暮らせる社会づくりに寄与していくための施策を推進することとして

推進しています。畜産関係では、美味しさや地産地消等を売りにした高付加価値化やブランド力の強化、農場HACCPの推進、食品

残さ排出事業者と畜産農家のマッチングに取組むエコフィードの活用を一層図るなど、都市環境と調和した畜産物生産を推進してまい

ります。

さらに、昨年四月に家畜伝染病予防法が改正され、消毒等の衛生対策を適切に実施することや家畜の飼養衛生管理状況を県へ報告する

など、衛生管理を一層強化するよう義務化されました。県としても、口蹄疫や高病原性鳥インフル

エンザなど重要な家畜伝染病の発生に対応するため、家畜保健衛生所を中心

今年も「原発被害を絶つ年」
福島原発事故被災地を映したテレビニュースの画面に黒毛和種らしい数頭の牛が見えました。放射線被害で避難を余儀なくされた畜産農家に、止むに止まれず放れた牛達でしょうか。事故発生以来今日まで野草を食べて生き延びてきたのでしょうか。

二〇一一年を表す漢字は「絆」と日本漢字能力検定協会が発表しました。この文字を選んだ方々は

家族の大切さを感じて、夫婦等をはじめとする人と人との結びつき・優しい繋がりを思い浮かべて

応募したことでしょう。が、本来は馬や牛などの動物をつなぎとめる綱から来た言葉だそう

です。テレビニュースの画面に垣間見られた牛達は「絆」から解放され

心からお祈りして、新年の挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございませ

皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと

お慶び申し上げます。

昨年の東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所事故では、甚大な被害が発生し、住民の非難、農畜水産物の出荷停止や風評被害など安全・安心な国民生活を根底から揺るがす事態も起きてしまいました。自然に対する科学技術の

たものでしょう。やがて雪が積もり、草が枯れてしまったら餓死してしまうのでしょうか。近年、畜産業界では動物愛護の観点から「カウコンフォート Cow Comfort 牛の快適さ」とか「アニマルウェルフェア Animal Welfare 動物の福利」を唱える事が多くなりましたが、この牛達は空腹、のど

の渇き、低栄養からの自由が満たされておられません。しかし、もし収容して飼料を与えても放射線を浴びた野草を食べて内部被曝して

いるので食用にはならず、安楽死させるしか無いのだろうか？動物愛護団体等の方々の意見を伺いたい

ものです。遠い国・ブータンから若い国王性を痛感いたしました。

さて、県では、県のめざす姿を示す総合計画を科学技術の面から

支える、新たな「神奈川県科学技術政策大綱(計画期間平成二十四～二十八年度)」を策定してい

ます。新しい大綱では、より効果的に科学技術の成果を生み出すた

め、選択と集中の観点から研究活動の重点化を図るとともに、科学技術の成果を産業界や県民生活に結びつける活動を強化してい

ます。

畜産技術所では、現在、安全・安心な畜産物の提供、環境と調和した畜産経営、循環型社会への貢献、を研究の柱に掲げて研究活動を展開しています。おいしさに係

とお后様が日本に訪れ、東北の被災地の子供達に心の中に居る竜の話をお聞かせ下さいました。国王の心の中の竜は綱で繋がれているのではなく、絆は無くても心の中

から逃げないのでしょうか？きっと心の中の竜は快適に暮らし、心も竜が居れば快適なのでしょう。

「竜の快適 Dragon Comfort」を実践しているのでしょうかね。ブータン国王の心の中の竜が大きく育つと同じように、日本・神奈川の畜産も早く風評被害による低

価格、低収入から抜け出して、経営を安定させなければなりません。東京電力に風評被害の賠償を

強力で要求しましょう。

今年も「絆」の年です。人と人との絆を断つことなく、原発の被害を一日でも早く絶つことを願い、心の中の竜が大きく育ち、畜産経営安定強化の年になることを祈っています。(忠丸朗)

技術所では、皆様の経営を支援するために神奈川県や当所の強みを活かした取り組みを進めてまいりま

すので、皆様のより一層のご協力を心からお願ひ申し上げます。

年頭にあたり、貴会の益々のご発展と、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

畜産技術所では、現在、安全・安心な畜産物の提供、環境と調和した畜産経営、循環型社会への貢献、を研究の柱に掲げて研究活動を展開しています。おいしさに係

競馬の収益金は畜産振興に役立っています。

川崎競馬開催日

24年1月1日(日)～4日(水)・6日(金)

24年1月23日(月)～27日(金)

昼間開催

東電原発事故に係る 本県の風評被害賠償 対策の経過について

今年七月に、東京都からの連絡で、暫定基準値を超えたセシウムを含む牛肉が本県に流通したことが伝えられて以来、学校給食での牛肉の使用中止を皮切りに、消費者の買い控えが始まりました。流通が滞ったことで、肉牛農家は適期に出荷することが出来ず、肉質の低下に加え、余計な餌代を負担せざるを得ない状況になりました。

これらのことは明らかに風評被害であり、東電に対し賠償請求すべき内容であることから、県畜産会は、既に茶葉の賠償請求を進めているJA東電原発事故損害賠償対策協議会に九月に加入し、賠償請求に向けた取り組みを開始しました。

そのような中、国が原発事故賠償に係る中間指針を発表しましたが、肉牛農家への風評被害賠償の対象(十七県)に本県は含まれていませんでした。神奈川の風評被害は認めないのか、東電担当者が出席した関連会議で聞いたところ、「原発事故と相当因果関係があることの立証が必要となる」との回答でした。

これを受けて、JA協議会と協議した結果、東電が賠償を認めるだけの証拠書類等として、どのようなものを揃える必要があるのか、具体的事例を示して東電の感觸を得る必要がある、生産者の皆さんに請求書を提出して頂くのは、それからでも遅くない、との結論に達しました。実際に、十一月十五日、三戸の肉牛農家合計五百五十万円の請求を先行実施しましたが、回答がないまま一カ月が経過しました。補償について不透明であるため、生産現場の混乱を招く恐れがあると情報発信を行いました。生産者の皆様から、情報がないことへの不安の

声があり、関係者と再度協議した結果、今後は逐一情報をお知らせしていくこととなりました。

なお、十二月十四日のJA原発事故賠償対策協議会幹事会の席上で、一か月の間、回答が無いことについて東電に質問したところ、「東電本部と調整している。次回幹事会にはある程度明確なお答えをしたい」との回答でした。いずれにしても今後の情勢は厳しいものがありますが、原発事故賠償に係る牛肉風評被害の本県の窓口としてしっかり進めて参りますので、ご協力ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

(県畜産会専務理事 丹波)

新マルキン事業

平成二十三年第3四半期
〔十月販売分〕の補てん金単価

去る十二月七日に、平成二十三年十月販売分に対する肥育牛一頭当たりの肥育牛補填金単価の算定結果が農畜産業振興機構より公表されました。

- 平均粗収益
 - 肉専用種 七三六、一七七円
 - 交雑種 四二六、四四四円
 - 乳用種 二四〇、六三三円
- 平均生産費
 - 肉専用種 八四二、二八一円
 - 交雑種 六一八、五五九円
 - 乳用種 三五四、四四三円
- 肥育牛補填金単価(平均粗収益と平均生産費の差額の八割)
 - 肉専用種 八四、八〇〇円
 - 交雑種 一五三、六〇〇円
 - 乳用種 九一、〇〇〇円

★補てん金交付日
平成二十三年十二月二十一日
(経営指導部 倉迫)



優良品種を使って 飼料生産

〔県飼料作物奨励品種とは〕

県では、自給飼料の生産拡大を図るため、畜産技術所において、県内の気候、風土、利用形態等に適する多収量で良質な飼料作物の品種比較試験を行っています。この結果をもとに作付奨励できる優良品種を選定し、神奈川県飼料作物奨励品種に定め、普及を図っています。

平成二十三年十二月に県内の栽培に適した高収量が見込まれる十草種三十四品種の飼料作物を選定しましたので、是非ご利用ください。なお、紙面の都合上、主要な草種のみを掲載しております。その他の草種については、神奈川県ホームページを「ご確認ください」。

http://www.agri-kanagawa.jp/itakagi/sokuhou/23syourai/

栽培利用上の留意点

奨励品種は耐病性、収量性等に優れ、本県の気候に適した品種ですが、播種適期・適正栽培本数等を守ることで、その品種の特性が最大限に発揮されます。病虫害の発生や倒伏は、品種の持つ抵抗性、生育上の栽培・環境条件等、これらの相互関係によって生じますので、ご留意の上ご利用ください。

草種、品種の特徴や栽培方法、収穫調整等の技術的なことに関するご相談は畜産技術所まで、その他については県畜産課畜産振興グループまでお問い合わせください。

農業技術センター畜産技術所
電話 046-238-4056(代)
県畜産課畜産振興グループ
電話 045-210-4511(直)
(畜産振興グループ 田中 嘉州)

【イタリアンライグラス】

品 種 名	早晩生	利用型	主な特性
ハナミワセ	極早生	極短期	直立型でアップライトリーフ、耐倒伏性極強、早春から生育旺盛
タチワセ	早生	短期	直立型でアップライトリーフ、耐倒伏性極強、早春から生育旺盛で多収
ワセアオバ	早生	短期	直立型で草丈高く、耐倒伏性強、早春の生育旺盛、水田・畑地裏作に適する
ワセユタカ	早生	短期	直立型、茎が太く、多葉で早春の収量性が高い水田裏作に適する
タチマサリ	早生	短期	直立型、草丈高い、耐倒伏性強、早春から生育旺盛で多収
タチムシャ	中生	短期	直立型、草丈高く、早春から生育旺盛で多収、耐倒伏性やや良好
マンモス イタリアンB	中晩生	中長期	偏直立型、耐倒伏性やや良好、初期生育旺盛
エース	晩生	極長期	ややほふく型で茎太、草丈高く、茎葉が大きい再生力が強い

家保だより

〔県央家保雑感〕

明けましておめでとうございます。年末からめっきり冷え込んでまいりました。皆様、体調を崩されてはいませんか？私、電車で通勤してありますと、あつちでゴホゴホ、こつちでゼイゼイ、目の前でくしゃみをする人もあり、防疫上はなほたよりしくありません。時には唾が顔に飛んできたりして、なおいけません。そういう日は、密飼いにされた家畜の気持ちがよくわかります。日頃、家畜防疫、家畜衛生指導を仕事としている家保職員が病気を移されてはかたないません。我々は、通勤時にはマスク、我が家に帰れば手洗い・うがいと感染防止をしておりますが、家畜・家畜は自己防衛ができません。ここは、畜主の皆様と一緒に脱いでいただいで冬場の保温や畜舎の換気、今一層のご注意をお願いいたします。なお、一肌脱いだばかりに畜主の皆様が風邪などお召しにならぬよう気をつけください。

さてこの時期最も気になる伝染病と言えは、やはり鳥インフルエンザです。この冬、鳥根県は松江市でコハクチョウからH5N2亜型の低病原性鳥インフルエンザが確認されました。また、台湾でも同様にH5N2亜型の低病原性鳥インフルエンザが発生しました。この病気が国内へ侵入する要因は、渡り鳥やウイルスに汚染された畜産物、飼料、人などを媒介とした侵入が考えられています。ですが、野鳥に渡りをやめさせることは出来ませんし、ウイルスは目に見えませんが、かといってウイルスを農場へ入れるわけにはいきません。現場で出来ることは何か？ここで、飼養衛生管理基準が見直され平成二十三年十月一日付けで施行されました。この中には、伝染病侵入防止のためのエッセンスが詰まっています。各農場で応用・遵守して下さるようお願いいたします。お問い合わせ等ありましたら、いつでも家保へご連絡を。

(県央家畜保健衛生所 簡内)

大野山たより

新年おめでとうございます。日本は昨年、大震災と原発事故による大災害に見舞われました。日本再生を願うべく、今年も国民の一人としてできることを一生懸命やっています。

今年度、預託牛の受け入れを始めて四十四年が経過します。預託して下さる皆様や先輩方のご支援に感謝するとともに、今後もご指導をしっかりと受け止め、大野山牧場をもっと良くしていくためにこの一年を過ごしたいと思っております。

今年度は、伸びきった萱やチカラシバを刈り取る作業がちょっと遅れてしま、昨年十二月まで食い込んでしまっていました。遅ればせながら作業を終えることができ、「スキが原」状態を脱しました。秋の間にやっておかなければならない作業ではありましたが、ある意味では暑い時期よりは体には負担がなく、さらに新雪を頂いた雄大な富士山を遠望しながらの作業はすがすがしいものでした。しかし、つるべ落としのこの季節では調子に乗りすぎて油断していると、あつという間に山裾に日が沈み、月を横目に頂上まで戻るはめになります。そんな時、陽が落ちた後の一瞬に、夕焼けの天然のバックライトに照らされた富士山が赤く浮き上がって見える瞬間がありますが、それは見事なものです。

昨年からの国の緊急雇用促進事業で草刈等の要員としてアルバイト数人に来てもらいました。昨年六月から夏の炎天下の作業で一年でも最も厳しい草刈り作業から、冬を迎えてまでの期間でした。年齢層は六十歳台の方がほとんどで、夏の暑い最中から厳冬にいたるまで、それも急峻な草地での作業にもかかわらず良く持ちこたえてくれました。様々な経歴をもった方達でしたが、心を一つに山の草刈作業を一生懸命やってくれましたので、連帯感で別れにもちよつと感慨深いものがありました。放牧から牛舎に収容された牛達もすこぶる元気で順調に発育しています。繁殖関係でも受胎状況が良好で、今後が楽しみを展開です。

(大野山乳牛育成牧場長 青木)